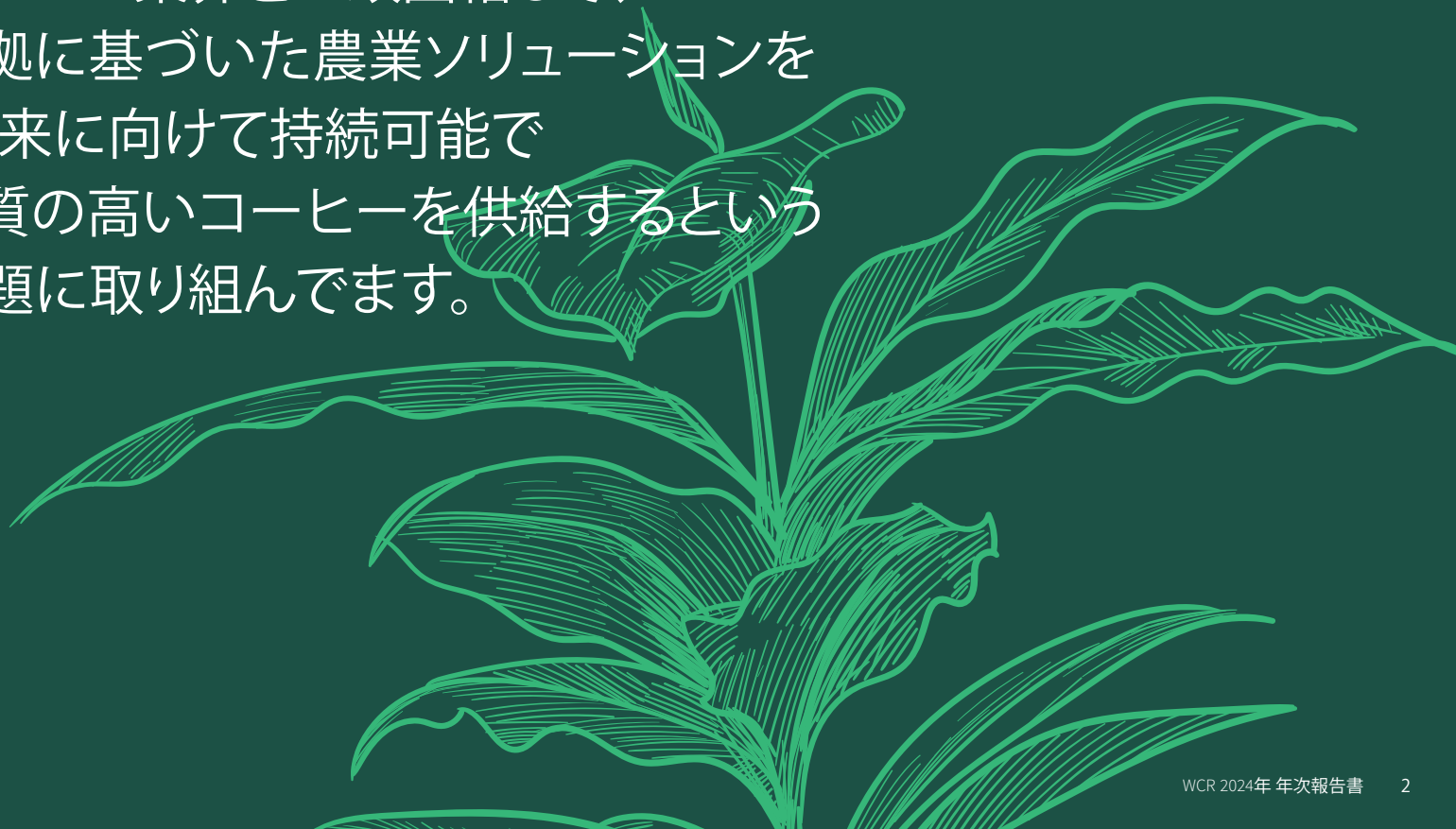
2024年 年次報告書

コーヒーの未来を創造する



WORLD COFFEE RESEARCH™

ワールドコーヒーリサーチ(WCR)は、
世界のコーヒー業界と一致団結して、
科学的根拠に基づいた農業ソリューションを
活用し、将来に向けて持続可能で
多様な品質の高いコーヒーを供給するという
喫緊の課題に取り組んでます。



WCRは29か国の200社の会員企業で構成され、共同で投資を行い、世界中のコーヒー生産を変革する気候変動に強い次世代のコーヒー品種を開発しています。

私たちの目標は、より優れた品種を生み出し、試験を実施し、世界中の農家に届けることで、産地の多様性を守っていくことです。私たちは、品種改良、実証試験、育苗・種子ロットの活動、国際的な支援要請活動という4つの分野における包括的なプログラムに取り組み、世界のコーヒー産地で協力的なパートナーシップを構築しています。そして、品質の高いコーヒーの供給を促進しながら、コーヒー生産農家の生活を向上させるという使命を達成するために活動しています。



本報告書について

本報告書は、2024年1月1日から2024年12月31日までのワールドコーヒーリサーチの活動、ハイライト、成果をまとめたものです。

最高経営責任者（CEO）より

コーヒーの未来は、かつてないほど近づいています



過去10年間にわたり、私たちは信頼できるグローバルパートナーシップを構築してきました。そして現在では、気候変動に対応し、品質の高いコーヒー品種の開発を加速させ、農家の地に届けています。

この活動の価値と重要性は、これまでになく明確になっています。昨年、この業界は歴史的なコーヒー価格の高騰に見舞われ、企業統合の増大と気候変動の拡大が同時に起こる中で、世界的な供給の脆弱性が明らかになりました。こうした脆弱性の一因として、農家にとって優良品種を栽培する選択肢が十分にないことが挙げられます。

当業界がその変革に向け取り組んでいることを、私は誇りに思います。2024年、29カ国200社以上のWCR会員企業から、総額1,000万ドルに上る複数年間の支援を確保しました。アラビカ種とカネフォラ種を対象とした我々の世界的なコーヒー育種ネットワークには、世界のコーヒーの43%を輸出する11カ国が参加しています。このネットワークは、さまざまな産地から安定した供給を確保する次世代のコーヒー品種を創出しており、2030年までに100種類の改良アラビカ種を提供し、カネフォラ種もそれに続く予定です。

幸いなことに、コーヒーの世界的な農業研究開発を支援することが重要課題であるという認識が、消費国の政府間で高まっています。2024年には、ICO、UNIDO、G7諸国が、コーヒー研究をはじめとする優先事項に有益となるグローバルな投資手段の模索に着手しました。

私はこれまで以上に、未来は明るいと確信しています。WCRのグローバルかつ協力的な業界主導のコーヒー品種開発モデルは、コーヒー農家に経済的利益をもたらし、コーヒー生産国の輸出収入を安定させることで、世界中の焙煎業者、小売業者、コーヒー愛好家に品質の高い豆を確実にお届けします。

コーヒーは、気候変動に直面しても繁栄する可能性を秘めています。これはWCRの会員企業とパートナー政府による、農業イノベーションの加速に向けた継続的な取り組みによるものです。私たちは共に、コーヒーの力強い未来を創造しています。

—Dr. Vern Long, **最高経営責任者（CEO）**
World Coffee Research

Vern
2024

年のハイライト

ビジョンを現実に変える



Innoveaプログラムネットワークに用いられる遺伝資源は、これまでに開発した中で最も多様な高性能アラビカ育種材料であり、国境を越えて合法的に移送され、現在7か国で栽培されています。



ベトナム、ウガンダ、ガーナは、成長を続けるロブスタ育種ネットワークへの最初の参加国であり、新たな高性能遺伝子を生み出す初のロブスタ種交配が行われました。



ペルーとウガンダでは、改良品種を農家の手に迅速に届けるため、新しい種苗場が設立されています。この種苗場では、健全かつ純粋な遺伝子を持つ種子をコーヒーの主要産地の苗床に確実に供給できるよう、品質管理を重点的に行っています。



小さな種子の強大なパワーを解き放つために

小さな種子の強大なパワーを解き放つために コーヒーの「ミッシングミドル」への投資を促進する

世界中のコーヒーの木の約半分は、今後10年以内に植え替えが必要です。しかし、優れた品種を品種改良によって生み出しても、農家がそれを購入できなければ意味がありません。多くの国の農家は、質の高い苗木の入手は容易ではありません。その一因として、コーヒーには機能的な種子システムが欠けていることが挙げられます。これはコーヒーの「ミッシングミドル」と呼ばれる現象です。

2024年における私たちの重要な成果の一つは、コーヒー種子システム（※種子や苗木を繁殖、流通、規制する組織や機関のネットワーク）への投資拡大の必要性に対する認識を高めたことです。個々の企業や国全体が改革プログラムに資金を投入しています。これらの投資の効果を最大限に引き出すためには、農家に提供される苗木が適切で健康的であることを確認することが重要です。農家に新しい苗木を供給するシステムを強化することが、新品種がもたらす可能性を現実のものにする鍵となります。

2030年から、気候変動に適応した新たなコーヒーの品種が、WCRの品種改良プログラムから前例のない規模で流通することになります。しかし、現在の種子システムは、これからの革新に対応するには不十分です。これらの優れた品種を農家に届けるためには、コーヒー業界と公共部門の共同投資を拡大し、品種の配布に関する規制や政策を改善し、資金調達へのアクセスを向上させる必要があります。公私の投資が連携することで、コーヒーとその生産に関わる人々の持続可能な未来を実現することが可能となります。

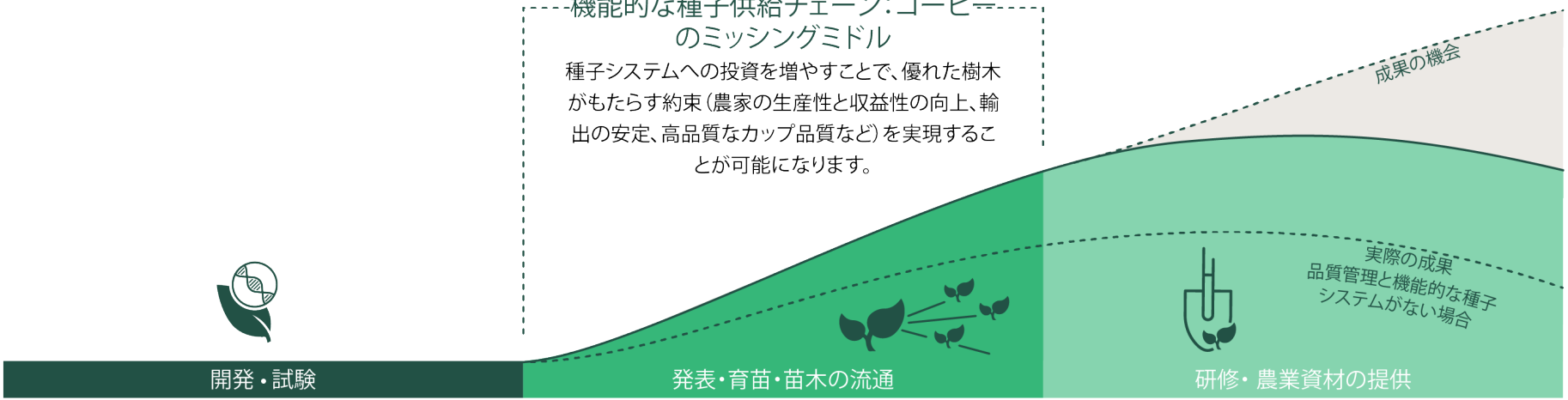
種子システムとは？

種子システムとは、種子や苗木を繁殖、流通、規制する組織や機関のネットワークのことです。例えば、「公式な」コーヒー種子システムでは、苗木生産者は種苗場所有者から種子を購入し、種子を苗木に育て、農家に販売します。種子システムのもう一つの重要な要素は「非公式な」種子システムで、これは農家が自身で種子を保存するものです。

種子サプライチェーンに投資することで、品質の高い苗木を可能な限り多くの農家に届けることができます

機能的な種子供給チェーン：コーヒーのミッシングミドル

種子システムへの投資を増やすことで、優れた樹木がもたらす約束（農家の生産性と収益性の向上、輸出の安定、高品質なカップ品質など）を実現することが可能になります。



現代の育種技術を利用して、より高品質の苗木をより早く育てます。

機能的な種子サプライチェーンが、トレース可能で品質管理された種子生産、育苗、苗木の流通を通じて、農家に健全な新しい品種を提供します。

研修を実施し農業資材を提供することで、農家が新しい品種で成功できるよう支援します。

品種改良

私たちのアラビカ種およびロブスタ種に関する品種改良プログラムでは、世界的に著名な科学者たちが最先端のゲノム技術を駆使し、国際的な協力を通じて品種改良の進行を迅速化し、農家にとってより優れた苗木の選択肢を提供しています。

Innoveaプログラムネットワークのアラビカ種の苗木を農地に移植

7カ国の農地に新たな遺伝系統種が導入されました

2024年、7カ国が初のInnovea Global Arabica Breeding Networkの苗木個体群を研究用農地に設置することに 成功しました（これにはネットワークパートナー6カ国とエルサルバドルのWCR研究農場が含まれ、2025年にはさらに2カ国に植えられる予定です）。こうした苗木には、これまで各国が利用できなかったさまざまな高性能遺伝子が含まれている。その材料は、気候変動や原産地の多様性維持といった今後の生産課題に対応するために、市場に合わせた品種を開発する基盤となります。個々の苗木の遺伝子と性能に関するビッグデータを6年間にわたり集約し、品種リリースやさらなる育種に向けて選ばれるコーヒーの木が決定されます。



ペルー



ウガンダ

コスタリカ



ルワンダ



コーヒー育種を加速

種子繁殖が可能な品種を
20年から8年に短縮して提供します

2024年、私たちはコーヒー業界初となるスピード育種プログラムを開始しました。このプログラムにはWCR独自のInnoveaプログラムネットワークの開発中のアラビカ品種が含まれており、厳密な管理条件下で栽培されています。また、高度なゲノミクスツールを使用することで、育種タイムラインを標準の20〜30年からわずか8年に短縮します。この個体群の中から最も優れた100本の苗木が、2030年から開始する商用試験に向けてリリースされます。

Innoveaプログラムネットワークの動画をご覧いただき、世界のコーヒー品種改良研究者の声をお聞きください。

ロブスタ種の育種ネットワークを形成

ベトナム、ウガンダ、ガーナが最初の参加国

2024年、世界のロブスタ種の48%を生産する主要国であるベトナム、ウガンダ、ガーナの3カ国が、2025年に正式に開始される新しいロブスタ育種ネットワークに最初に参加することになりました。このネットワークは、私たちのInnoveaプログラムネットワークアラビカプログラムをモデルにしており、改良ロブスタ種の農家への提供を加速させ、ロブスタコーヒーの長期的な輸出を確保するための世界的な共同育種活動となります。ネットワークのパートナーは、まずは1,000の品種候補としてWCRから改良遺伝子を受け取り、各国の市場に合わせ、高収量、耐病性、品質向上に焦点を当てた気候変動に強い遺伝子を共同で特定します。

- 最初の3カ国がネットワークに参加します。
- CIRAD（フランス農業開発研究国際協力センター）が提供する独自の材料を使用して、さまざまな遺伝子グループ間で44の交配を行い、合計1,000の独自の遺伝子型を生み出しました。



「ベトナムは、ロブスタコーヒーの世界トップの生産国・ベトナムは、ロブスタコーヒーの世界トップの生産国・輸出国であることを誇りに思っており、その実現に向け農家を引き続き支援することを切望しています。この共同ロブスタ種育種ネットワークは、農家のニーズを満たす品種開発の促進、気候変動への対応力の達成、長期的な輸出確保という絶好の機会を提供します。

— **Dr. Phan Viet Ha**
Western Highlands Agriculture
& Forestry Science Institute (WASI)

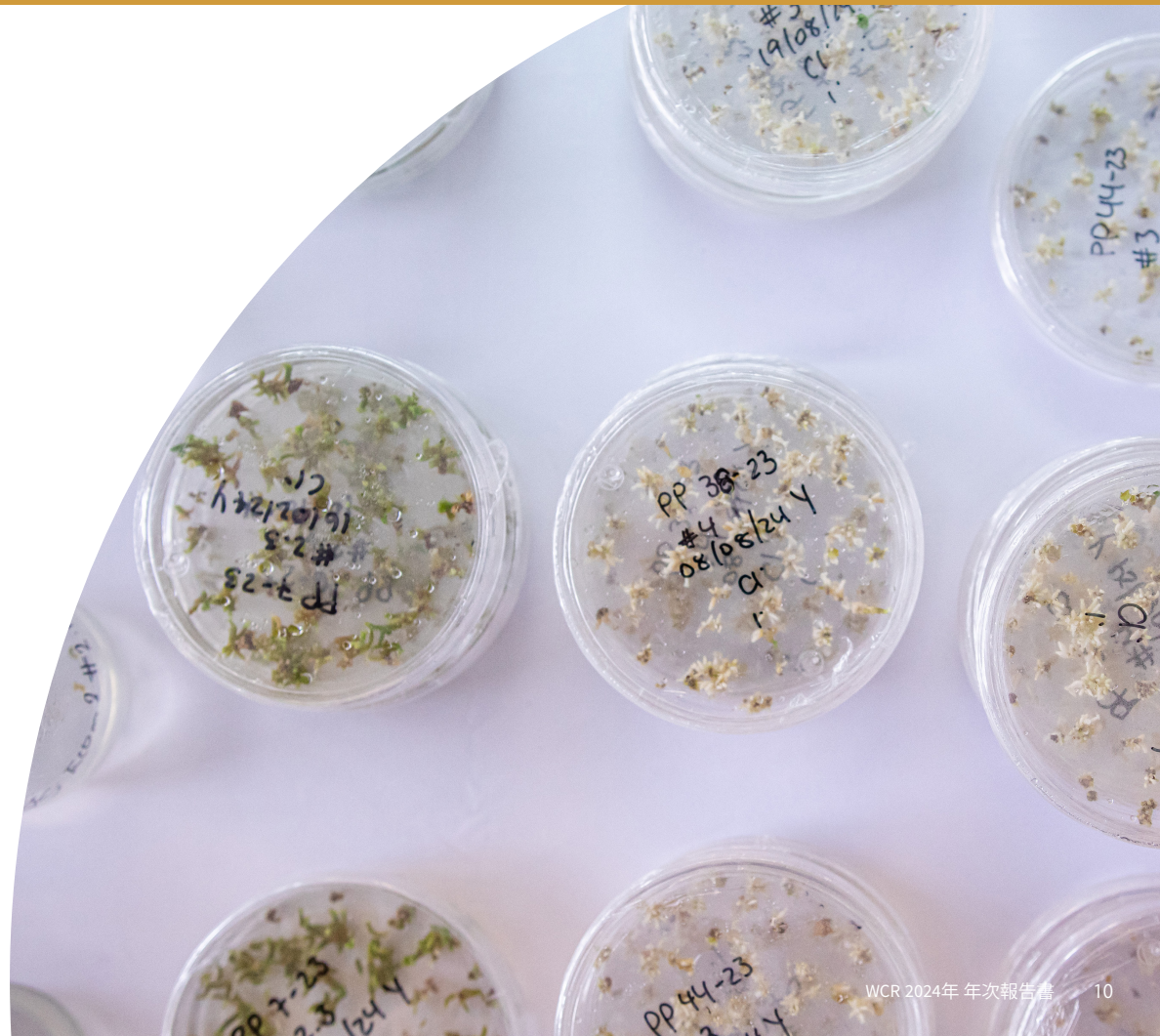
実証試験

WCRは、世界中で多くの試験施設を運営しており、既存品種と新品種の双方の試験を実施しています。この施設を利用して、さまざまな環境における品種性能の差異を把握し、育種アプローチの改良試験を行っています。

WCR F1ハイブリッド実証試験

ペルー、グアテマラ、コスタリカに商業化前試験用の苗木を出荷

3カ国における研究試験でその可能性が確立された後、WCR F1ハイブリッド品種の4候補がペルー、グアテマラ、コスタリカに到着し、農家、協同組合、そしてWCR会員企業の支援を受けた1つの国立コーヒー研究所との規模を大きくした商業化前試験が実施されました。10,000本以上の苗木が試験参加パートナーへと発送され、2025年に各農地に植えられる予定です。



国際多地域実証試験（IMLVT）

世界最大規模のコーヒー品種実証試験が延長

IMLVTは、31種類の市場に流通している一般的なアラビカ種を対象とした世界最大のコーヒー実証試験です。2015年に発足し、15カ国22拠点にまで拡大しました。2024年、この試験はより焦点を絞った新たな段階へと移行を開始しました。樹齢の進んだ6拠点を閉鎖し、初期の7拠点における試験延長が2029年までの6年間承認されたことで、更新剪定後（カットバック）の収量、病害、品質性能データの収集が可能になりました。

延長された実証試験拠点とパートナー



インドネシア



インド



ペルー



ニカラグア



ケニア



ルワンダ



マラウィ

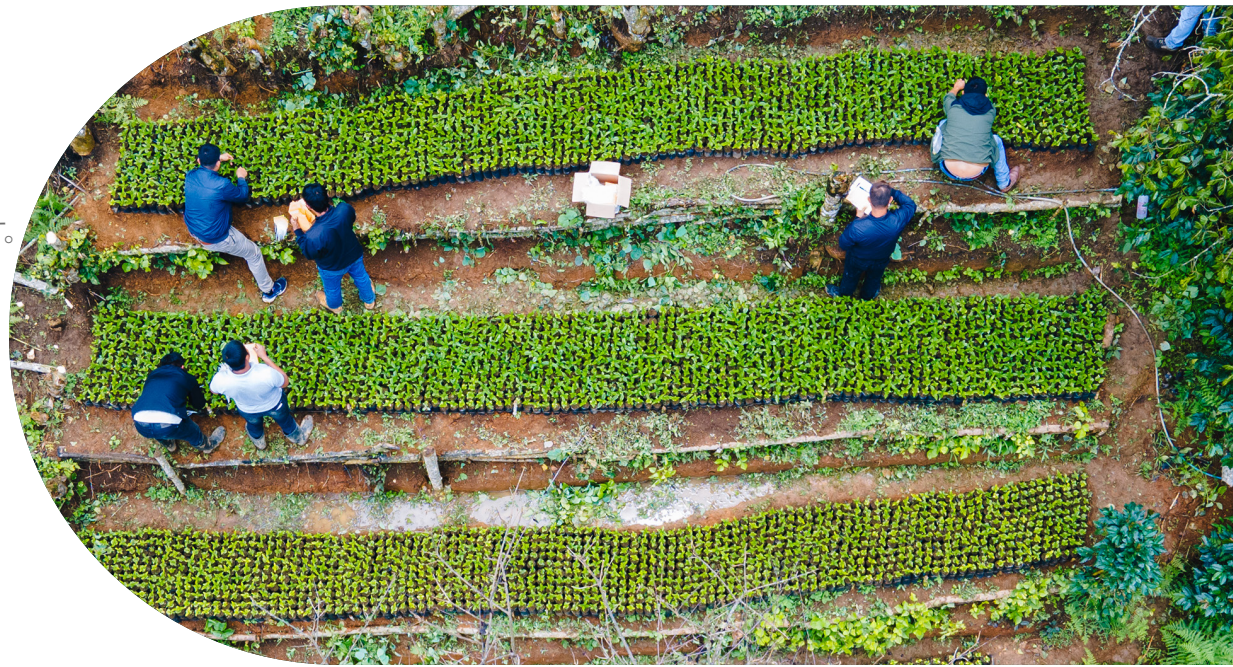
種子システム/育苗

WCRは、より良質な苗を農家に提供できるよう、種子システムや種子サプライチェーンの強化、品質保証ツールの開発、高品質の種苗場の確立、苗木生産者の指導研修に取り組んでいます。今こそ、今後10年間にわたり訪れる革新に向け、コーヒーの種子システムを準備する重要な時期です。

ペルーにおける農家の選択肢の拡大

WCRは、ペルーの8組織と協力し、高性能品種2種（IPR107、Paraneima）を農家が利用できる可能性を高めるために、遺伝的に保証された苗木を扱う10か所の新しい種苗場の確立に取り組んでいます。2024年、この種苗場の種子を調達し、その種子が苗床で発芽しました。そして2025年には苗木が植えられる予定です。これらの品種は、WCRのIMLVT試験を通じて、ペルーでの優れた収量とコーヒー葉さび病に対する抵抗性を示しました（p.11を参照）。

2028年には早くも年間400万本の木を育てるのに十分な種子が、この新しい種苗場で生産される予定です。



ペルーで発芽したこれらの種子は、新しい種苗場のマザーツリーになります。



ウガンダの種苗場と90,000本の苗木

WCRは、ウガンダ全土のパートナーと協働して、改良された苗の繁殖を拡大し、品質の高い品種へのアクセスを促進しています。

- ウガンダ農業・畜産・水産省（MAAIF）のコーヒー部門（旧ウガンダコーヒー開発局：UCDA）およびUGACOFと共同で、90,000本の耐病性品種の苗木を農家の手に渡しました。この苗木は、農家主導の新しいロブスタ苗木園10か所で生産され、総計すると
- 新たに10のアラビカ種苗場を設立し、地元の小規模農家向けに毎年5万本の高品質の苗木を生産できるようにしました。
- ウガンダのコーヒー産地3か所で100名以上のアラビカ種の育苗業者と種子生産者に研修を実施し、コーヒー栽培が急速に進むウガンダで、高品質の苗木がより多くの農家の手に行き渡るようにしました。
- ガンダ国家農業研究機関（NARO）と共同で国内の関係者を招集し、ウガンダの生産量を4倍に拡大する国家目標を達成するために種子および苗の品質向上に向けた優先的なロードマップ策定を支援しました。

ホンジュラスとグアテマラ

品種性能の長期的な保証は、一貫して品質の高い種子から繁殖される場合にのみ実現します。2024年、WCRはホンジュラスとグアテマラのパートナーを支援し、各国の国立コーヒー研究所の支援と参画を得て、商業用種苗場から遺伝子汚染箇所を排除しました。広範なサンプル収集とDNA検査の結果、純系ではない苗はすべて破棄され、将来に向けて高品質の基盤となる種子が確保されます。

- ホンジュラス：8つの種子ロットから13,160のサンプルが収集されました（品種：Lempira、Parainema Anacafe 14、Catigua MG2）。
- グアテマラ：苗床に残っている苗木から7,520のサンプル（Anacafe 14）が収集されました。純系の個体のみが、グアテマラの農家の種苗場の基礎を確立するために使用されます。

こうした評価は、この地域の種苗場の遺伝子適合性を評価する過去の研究に基づいています。WCRは、2020年以降、ホンジュラス、グアテマラ、ニカラグア、エルサルバドル、ペルーで合計239の種子のロットを評価してきました。

この作業に協力いただいたパートナーのIHCAFEとAnacafeに、感謝の意を表します。

グローバル

コーヒーの研究開発投資を促進する国際的な支援要請活動

2024年、私たちは、業界や各国の政府に対しイノベーション投資を促す取り組みを引き続き拡大しました。その取り組みが功を奏し、供給の確保、輸出収入の安定化、そして農家の生活の向上を実現するためには、農業研究開発への支援が必要であるという共通認識が、私たちの業界で高まっています。

2024年の私たちの成果

- 米国農務省は、遺伝子改良、地域適応、生産改善に関する研究を優先させるべく、米国のコーヒー業界と共にコーヒーの研究開発戦略を策定することを公約しました
- **G7**諸国は、持続可能な農業投資のための優先的なバリューチェーンとしてコーヒーを挙げ、その研究を主要な優先事項として掲げています。その実現に向け、G7は、ICOやUNIDOなどと共同で主導する、持続可能で回復力があり、循環型で再生可能なコーヒーのバリューチェーンに向けた官民連携構想、戦略の創設を支持しています。
- 12のWCR会員企業と世界中のパートナー業界団体は、米国、日本、ドイツ、英国の政府との支援要請活動に引き続き積極的に参加しています。





支援要請活動の取り組み

WCRはコーヒーの研究開発への投資の必要性について分析を行い、教育用資料を作成します。

WCRの会員企業とパートナーは、コーヒー業界を代表して、自国の政府関係者に対する教育と支援要請活動を行っています。



2024年、WCRはコーヒーをG7諸国の優先作物として位置付ける取り組みを支援し、業界団体や会員企業がコーヒーの研究開発投資の必要性を政府パートナーに対し啓発する活動もサポートしました。



コーヒー開発プロジェクトを通じた影響力の強化

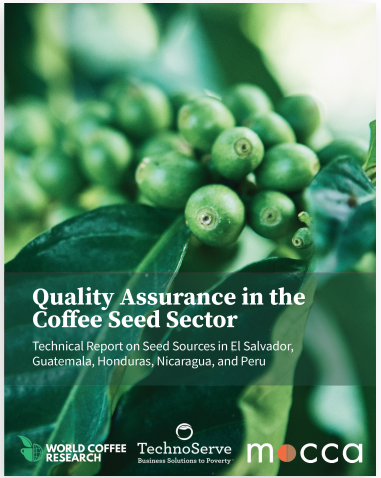
コーヒー開発プロジェクトは、世界中のコーヒー生産地域における農業研修とマーケティング活動を強化するために、多額の投資を行っています。WCRは可能な限り、こうしたプログラムに適切な技術支援を提供し、長期的な成果の向上に貢献しています。

2024年、WCRは7年間のMOCCAプロジェクトへの参加を継続しました。このプロジェクトは、ラテンアメリカ5カ国に6,000万ドルを投資し、79,300名のコーヒー農家を支援しています。MOCCA（南北アメリカにおけるコーヒーとカカオの機会の最大化）は、米国農務省のFood for Progressプログラムから資金提供を受けています。

- CheckCAFEの品質保証プログラムを通じて、ラテンアメリカ5カ国の28の苗床から、苗木470万本を農家に提供することができました。
- 45名が、種苗場での生産におけるトレーサビリティのベストプラクティスについて研修を受けました。
- 50の種子ロットから20,185本の樹木サンプルの遺伝子純度を検査しました。
- 41の種子ロットの遺伝子適合性を評価し、9の種苗場のクリーンアップを支援しました。

リソースと知識の共有

2024年、WCRの出版物（『Coffee Varieties Catalog』、『Sensory Lexicon』、育苗マニュアルなど）が、世界各国から集結した222,000名に閲覧されました。



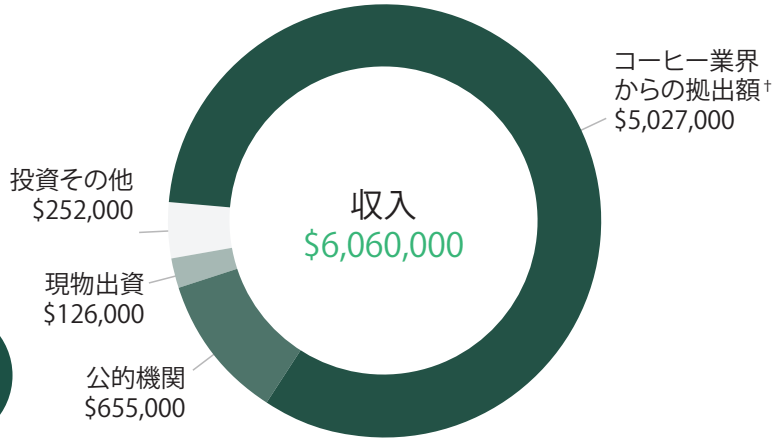
無料のWCRリソースは worldcoffeeresearch.org/resourcesからダウンロードできます

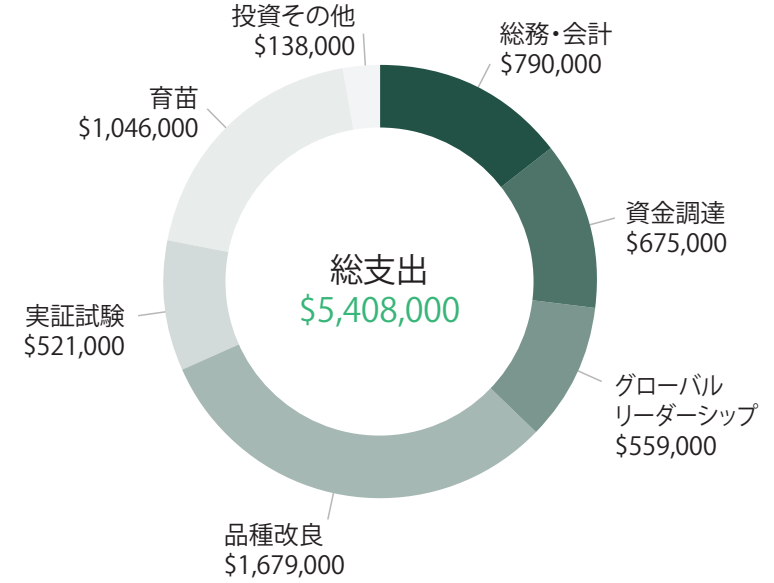
2024年の財務報告*

2024年、203社の会員企業が、現在および将来に向けてコーヒーの未来を守るという決意をしました。さらに同年には、55の企業と個人からさらに資金提供を受けました。

2025年から2027年にかけて、コーヒー業界から得られる拠出額は1,000万ドル

2024年に、WCRはコーヒー業界から2025年から2027年の期間にわたる総額7,141,000ドルの誓約を受け取りました。





2024年度末財務状況

現金/投資:	4,767,000ドル
受取担保金:	7,313,000ドル
その他の資産:	490,000ドル
負債:	116,000ドル
純資産:	12,454,000ドル

総財務状況 12,570,000ドル

*経営陣に報告された監査前の数値
† 収益:前年度の寄付金から受け取った現金が含まれますが、来年度以降に確約された寄付金額は含まれません。
** この合計額の一部はコーヒー生豆の量に依拠し、過去の平均値に基づいて計算されます。



2024年度の会員と支援者

大小の企業からなるWCRの会員企業が、コーヒー研究という共通の世界的課題に共同で取り組むために出資しています。会員企業の参加は、活気に満ちた持続可能なコーヒー産業の重要な礎となっています。

2024年、29カ国から203社の企業がWCRに加入しました。

メンバーシップランク

- Coffee Blossom
- Coffee Tree
- Seedling
- Sprout
- Seed
- Cherry

COFFEE BLOSSOM

THE J.M. SMUCKER Co + Folgers

JDE Peet's + L'OR ESPRESSO

Keurig DrPepper

LAVAZZA GROUP

LAVAZZA FOUNDATION

Tchibo

TAYLORS OF HARROGATE

COFFEE TREE

NDCP DUNKIN'

Tim Hortons

illy

KEY COFFEE

SEEDLING

EST. 1919 FAMILY OWNED Community COFFEE

S&D SUCDEN COFFEE

coffee circle



SPROUT

- Allegro Coffee Company
- Arvid Nordquist HAB
- Blue Bottle Coffee
- Bulavity
- Cafcom
- Calendar Coffee
- Caravela Coffee USA
- Coffee Bros.
- Coffein Compagnie
- Counter Culture Coffee
- Craft House Coffee
- Dark Woods Coffee Ltd.
- De'Longhi
- Dutch Bros Coffee
- ECRE (旧Collective Roasting Solutions)
- Finlays
- Intelligentsia Coffee
- カルディコーヒーファームオンラインストア
- KIM House Roaster
- Lincoln & York Ltd.
- Little Waves Coffee Roasters
- 丸紅食料
- Melbourne Coffee Merchants
- Ome by Spacebar Coffee
- Ozo Coffee Roasters
- Pacific Espresso
- Passenger Coffee & Tea
- Philz Coffee
- PROBAT Inc.
- Roast House Coffee
- Rumble Coffee Roasters
- 猿田彦珈琲
- Stitch Coffee
- Sucafina Specialty NA
- Sustainable Harvest
- Sweet Maria's Coffee Inc.
- Temecula Coffee Roasters
- Temple Coffee Roasters
- トーアコーヒー
- Union Hand-Roasted Coffee



SEED

- AREA 51 Coffee Roasters
- アサヒクオリティーアンドイノベーションズ
- Atlas Coffee Importers
- Bäckerei Happ
- Bagavathi Organogenic Molecular Mineralised Coffee
- Barrie House Coffee Company, LLC
- Bell Lane Coffee
- Black Oak Coffee Roasters
- Black Subtle Notes Coffee
- Blossom Coffee Roasters
- Bodum
- ボンタイン珈琲本社
- Boomtown Coffee
- Bridge Coffee Co.
- BUNA
- Cafe Imports Fulfillment
- CafeTracker
- Camber Coffee
- Caravan Coffee
- Ceremony Coffee Roasters
- Chouette Torréfacteur Laboratoire
- Coffee Libre
- Coffee Nexus Ltd.
- Coffee Unified
- Coffeebar
- Covoya Ltd.
- Covoya Specialty Coffee
- Crankhouse Coffee Ltd
- CuBa BIOTEC
- CUPRIMA
- Curve Coffee Roasters
- Dear Green Coffee Roasters
- Demus S.p.A.
- DESCAFEINADORES MEXICANOS, SA DE CV
- Driftaway
- DRWakefield
- Equator Coffees
- Espanola Coffee Roasters
- Excelco Trading
- Exhale Coffee
- ファディ篠栗焙煎所
- Falcon Coffees Peru
- FiXX Coffee
- Forecast Coffee Company
- Fort Findlay Coffee & Doughnut Shoppe
- Fortitude
- Friday Coffee Roasters
- Fuglen Coffee Roasters Oslo
- Fulcrum Coffee
- 堀口珈琲研究所
- Huckleberry Roasters
- I & M Smith
- Imbibe Coffee Roasters
- InterAmerican Coffee/ Neumann Gruppe USA
- Intercontinental Coffee Trading
- IO Coffee
- Irving Farm New York
- 井崎コーヒー
- Java City
- Jones Coffee Roasters
- Kaldi's Coffee
- Kelachandra Coffee
- Kerchanshe Trading PLC
- Kiss the Hippo Coffee
- Klatch Coffee
- Kua Coffee
- Kurasu LLC
- La Baia Coffee Supply
- Limini Coffee
- List + Beisler GmbH
- Madcap Coffee Company
- Market Lane Coffee
- Metric Coffee
- Moplaco Trading PLC
- Mr. Espresso
- Murnauer Kaffeerösterei
- Nylon Coffee
- One Village Coffee
- Origin Coffee Lab
- Origin Coffee Roasters
- Peekskill Coffee
- Philippine Coffee and Barista Insitute, Inc.
- Prometheus Coffee Roasters
- Rave Coffee
- Raw Bean Limited
- Red Bank Coffee Roasters
- RGC Coffee
- Rimini Coffee
- Ringtons

- Riposo Coffee Roasters
- Roundtable Coffee Works
- 石光商事
- Samadool Coffee
- Satoru coffee
- 住商フーズ
- SCS Global Services
- Single O
- Solberg & Hansen AS
- South India Coffee Company
- South Texas Coffee Initiative
- Specialty Grade Coffee
- Sucafina N.V.UK Ltd
- Supremo Coffee
- Swiss Water Decaffeinated Coffee Company
- Taf Coffee
- TBD Coffee Co
- TERAROSA (Haksan Co.Ltd)
- This Side Up Coffees
- Tony's Coffee
- Trabocca
- True Stone Coffee Roasters
- Vides58 Coffees
- Walker Coffee Trading
- Whittard of Chelsea
- Wonderstate Coffee
- Hessian Coffee Limited
- High Vibration Coffee
- Hound House Coffee
- Laila Jade Coffee Company
- Mahogany Queen Coffee
- MOMA - MOLESCI & MATESCI
- Monster Buck Coffee
- Nemesis Coffee Roasting
- Nincomsoup Ltd
- OutIn
- Polyplants
- River Coffee Roasters
- Roastwolf
- Sailors Coffee Company
- SipSation Coffee Co.
- Steim
- StoneX Specialty Coffee
- The Heavenly Coffee Company Ltd
- The Old Captain
- The Pawfect Brew
- The Tired Teacher Coffee Co.
- Tobias Coffee
- Wonder Waves Coffee
- Wrangler Coffee Company
- Dancing Goats Coffee
- Dispatch Coffee
- Dunn Brothers Coffee
- Firsthand Coffee
- Full City Rooster
- Brian Gaffney
- Good Good Coffee
- Jared Gottdiener
- Greenway Coffee Company
- Heart and Graft Coffee Ltd
- Horsham Coffee Roaster LTD
- Johann Jacobs Haus GmbH
- Junker's Café-Rösterei
- Kittel Coffee
- La Colombe Coffee Roasters
- Landmark Specialty Coffee
- Samuel Liu
- Monastery Coffee
- MoonGoat Coffee Roasters
- North Fork Coffee Roasters
- Olam International Limited
- Olisipo Coffee Roasters
- Parabola Brands
- Primavera Green Coffee LLC
- Red Cedar Coffee Co.
- River City Coffee Ltd
- Nicolas Rivolta
- Rose N Crantz Roasting Co.
- Rose Park Roasters
- Royal Cup Coffee
- Small Planes Coffee
- Spyhouse Coffee Roasting Co.
- Square Mile Coffee Roasters
- Square One Coffee Roasters
- St Paul Roastery
- Structure Coffee Roasters
- The Roastery
- Vagabond Coffee Roasters
- Jonas Wellington
- West Cork Coffee Roastery Ltd

2024年には、55の企業と個人から追加の資金支援を受けました

- 7th Ave Roastery
- Beanstock Coffee Roasters, Inc.
- Blume Coffee Traders
- Bolt Coffee Company
- Boxcar Coffee Roasters
- Brewpoint Coffee
- Cafe de Leche
- Camino Real Coffee Roasters
- Caravela Limited
- Coffee by Tate
- Coldblow Coffee Company
- Collaborative Coffee Source - North America
- Colour Coffee Roasting Ltd
- Condesa Co. Lab
- Crop to Cup Coffee



CHERRY

- Bettr Coffee
- Black Kat Cafe Company
- Coffee (Aside)
- Coffee Crops Labs
- Cup of Courage Coffee
- Cwtch Coffee
- Driply
- Exchange Alley Coffee House (EACH)
- Green Coffee Collective
- Harbor Coffee LLC

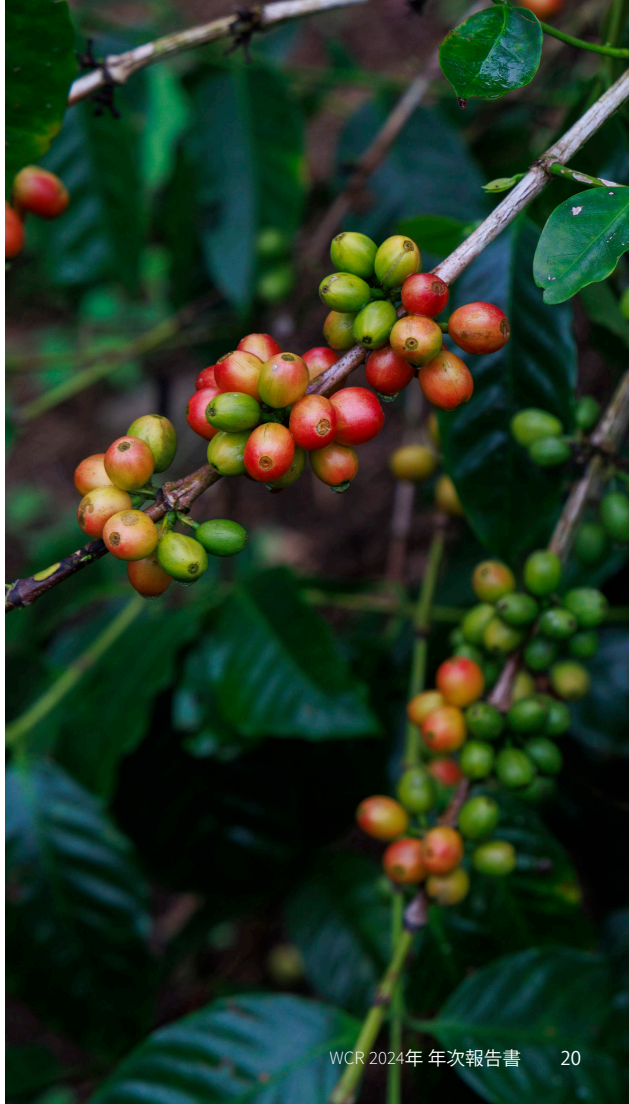
2024年度チェックオフプログラム参加者

マッチング/協力サプライヤー

- Atlas Coffee Importers
- Cafe Imports
- Caravela Coffee USA
- Caravela Limited
- Coffee Unified
- Collaborative Coffee Source - North America
- Condesa Co. Lab
- Covoya Ltd.
- Covoya Specialty Coffee
- Crop to Cup Coffee
- CUPRIMA
- DESCAFEINADORES MEXICANOS, SA DE CV
- DRWakefield
- Excelco Trading
- InterAmerican Coffee/ Neumann Gruppe USA
- Intercontinental Coffee Trading
- List + Beisler GmbH
- Melbourne Coffee Merchants
- Olam International Limited
- Primavera Green Coffee LLC
- RGC Coffee
- Sucafina N.V.UK Ltd
- Sucafina Specialty NA
- Sustainable Harvest
- Swiss Water Decaffeinated Coffee Company
- Trabocca
- Walker Coffee Trading

マッチング以外のサプライヤー

- Agroindustrias Unidas de Mexico (AMSA)
- Atlantic Specialty Coffee, Inc.
- Be Green Trading SA
- Bourbon Specialty Coffee
- Cape Horn Coffee Company
- Caravela Coffee Australia Pacific
- Cargill International SA (CISA)
- Coffee Resources Inc.
- Coopfam
- East Africa Coffee Co. LLP
- ECOM Agroindustrial Corp-Kawacom
- Expocacer Cooperativa dos Cafeicultores do Cerrado Ltda.
- Falcon Coffees Ltd.
- Gollücke & Rothfos
- Greencof B.V.
- Hacienda La Minita
- InterAmerican/ Neumann Gruppe
- La Bastilla Coffee Estates, Corp.
- Origin Coffee Lab
- Paragon Coffee Trading Company
- Racafe
- Royal Coffee
- The Coffee Source, LLC
- Volcafe Specialty Coffee Corp.
- Volcafe Switzerland Ltd.



コーヒーの未来を創造する

動画をご覧ください

「当社と200を超えるWCR会員企業は、
誇りをもってコーヒーの未来に投資しています。
105年以上の歴史を持つ米国の家族経営企業として、
Community Coffeeは、事業の未来を守り、
農家の繁栄を促進し、顧客に持続可能性と品質を
提供するために、農業革新に投資することが
非常に重要であると理解しています。」

— **Matt Saurage**

Community Coffee
会長兼4代目オーナー

「良質のコーヒーを長期的に供給したいのであれば、
未来の品種を開発する科学の支援が必要です。
WCRが育種ネットワークを構築したのも、
焙煎業者は、私たちがもう一日も待てないことを
理解しているからです。」

— **Pablo Von Waldenfels**

Tchibo
コーポレート責任担当取締役

「KDPでは、私たちのコーヒーの品質、味、香りに
基づいて、アメリカの食卓に並ぶための公正な
競争を歓迎しています。しかし、私たちが
競争するわけにはいかないものがひとつあります。
それは、コーヒーそのものの未来です」

— **Monique Oxender**

Keurig Dr Pepper
最高コーポレートアフェアーズ責任者

理事会

WCRのチームは、品質の高いコーヒーの供給を
増やし生産者の生活を向上させるために、
品種改良システムの近代化という課題の
実現に向けて、意欲的に取り組んでいます。



James T. McLaughlin, Jr.
Intelligentsia Coffee
議長



Pablo von Waldenfels
Tchibo
副議長



Giacomo Celi
Sucafina SA
参事



Shawn Hamilton
Klatch Coffee
財務担当部長



Hope Bagozzi
Tim Hortons



David Brussa
illycaffè S.p.A.



Katie Carguilo
Counter Culture Coffee



Mario Cerutti
Lavazza Group



Roberto Alonso Vega Alfaro
Starbucks Coffee Company



Nadia Hoarau-Mwaura
JDE Peet's



Harrison Leger
National DCP



Mark Howell
Community Coffee Company



Monique Oxender
Keurig Dr Pepper



Victoria Salin
Texas A&M (TAMU)



柴田 裕
キーコーヒー



Jim Trout
The J.M.Smucker Co.



Keith Writer
Taylors of Harrogate

その他の理事会委員：

Eve Bartnik (Swiss Water Decaffeinated Coffee Inc.), **Philippe Casas** (JDE Peet's), **Keith Flury** (Sucden), **Dr.Ingo Lantz** (Tchibo), **Ellen Nielsen** (PROBAT), **Gloria Pellegrino** (Lavazza Group), **Corrado Piscanec** (illycaffè S.p.A.), **Leon Sanchez** (Sucafina SA), **Matt Saurage** (Community Coffee Company), **Fionula Scanlan** (Taylors of Harrogate), **Jim Smith** (Royal Cup Coffee), **Luca Turello** (illycaffè S.p.A.), **Joe Vaughan** (The J.M.Smucker Co.)

チーム

WCRのチームは、品質の高いコーヒーの供給を増やし生産者の生活を向上させるために、品種改良システムの近代化という課題の実現に向けて、意欲的に取り組んでいます。

リーダーシップ



Dr.Jennifer “Vern” Long
最高経営責任者（CEO）

Dr.Tania Humphrey
研究理事

Dr.Kraig Kraft
グローバルパートナーシップ理事

Salvador Urrutia Loucel
南米担当理事

Liam Cummins
財務理事

Siaska Vieira de Castro
人事・総務担当理事

Alexa Heinicke
業界メンバーシップ・開発担当理事

WCRチーム

Julio Alvarado
地域栽培、実証試験、品質管理アシスタント

Josue Arevalo Alvarenga
研究技術者

Dr.Veronica Belchior
研究員
（コーヒー品質）

Dr.Jorge Berny Mier y Teran
研究員
（植物育種・ゲノミクス）

Dr.Santos Barrera Lemus
上級研究員
（植物育種・ゲノミクス）

Elly Castro
上級研究技術者

Kristin Franklin
契約・助成金担当マネージャー

José María Gómez Vargas
管理部門シニアマネージャー

Koleen Hall
事業マネージャー

Jarrod Harris
財務・ポストアワードマネージャー

Joshua Harris
会計マネージャー

Maeve Holler
業界広報マネージャー

Dr.Robert Kawuki
研究員
（植物育種・ゲノミクス）

Jean Baptiste Kayigamba
研究技術者

Catherine Mumba Maina
グローバルプロジェクトマネージャー

Jimmy More
ペルー担当プロジェクトマネージャー

Nick Muir
育種担当マネージャー

Simon Martin Mvuyekure
WCR育種担当リエゾン

Maureen Namugalu
ウガンダ担当プロジェクトマネージャー

Hanna Neuschwander
コミュニケーション担当シニアアドバイザー

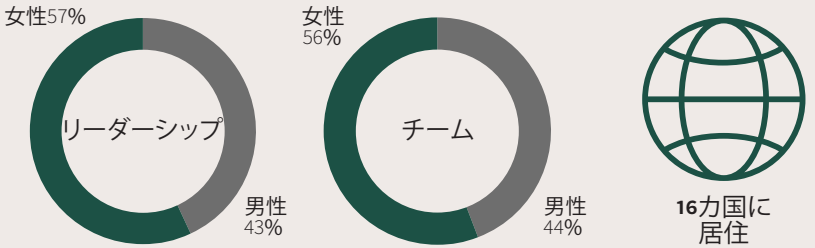
Maud Nicolas
エグゼクティブ管理およびメンバーシップマネージャー

Nuzul Qudri
インドネシア担当プロジェクトマネージャー

Emilia Umaña
育苗プログラム担当シニアマネージャー

Jesslin Zeledón
中央アメリカ担当プロジェクトマネージャー

WCRチームメンバー（2024年12月31日時点）：



2024年、WCRの会員企業は、
世界規模のコーヒー育種および
種子セクターの強化プログラムに
1,000万ドルのコミットメントを
更新しました。

スキャンしてメンバーになりませんか？

